(別紙様式１)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

動 物 実 験 計 画 書

　　　埼玉大学長　殿

　下記の動物実験計画について、国立大学法人埼玉大学動物実験規則第１４条第１項の規定に基づき申請します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 部局等の長の確認 | 年　　月　　日 | 受付番号 |  | 承認番号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 課題名 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究目的  （直接的な目的のほかに、動物実験が必要な理由、社会的・科学的意義についても記載する。） |  | | | | |
| 動物実験責任者 | 氏　　名  （学生は学籍番号も記入） | 部局等名 | 職　　名  （教職員のみ） | メールアドレス | 教育訓練  の受講 |
|  |  |  |  | 有  無 |
| 動物実験実施者 |  |  |  |  | 有  無 |
|  |  |  |  | 有  無 |
|  |  |  |  | 有  無 |
|  |  |  |  | 有  無 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実験実施期間 | 20( )年 月 ～ 20( )年 月 | | | | | | | |
| 飼養保管施設  及び実験室 | 飼養保管施設 | |  | | | | | |
| 実験室 | |  | | | | | |
| 使用動物 | 動 物 種 | 系　統 | | 性 別 | 匹 数 | 微生物学的品質 | 入手先（導入機関名） | 備 考 |
|  |  | |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究計画と方法 | 研究概要  (研究計画と方法について、その概要を記入する。) |
|  |
| 実験方法  （審査を適正に行うため、動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛  軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。) |
|  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 特殊実験区分  (選択項目を全て■） |  | 1. 感染実験 安全度分類 : □BSL1　□BSL2　□BSL3 | | | |
|  | 2. 遺伝子組換え動物使用実験　区分: □ P1A □ P2A □ P3A | | | |
|  | 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 | | | |
|  | 4. 化学発癌・重金属実験 | | | |
|  | 5. その他 | | | |
|  | 6．該当なし | | | |
| 動物実験の種類  (選択項目を■) |  | 1．試験・研究 | 動物実験を  必要とする理由  (選択項目を■) |  | 1．検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 |
|  | 2．教育・訓練 |  | 2．検討したが、代替手段の制度が不十分だった。 |
|  | 3．その他 |  | 3．その他 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 想定される  苦痛のカテゴリー  (選択項目を■） |  | （A.　生物を用いない実験、あるいは植物、細菌、原虫、または無脊椎動物を用いた実験） |
|  | B.　脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験 |
|  | C.　脊椎動物を用い、動物に対して軽微なストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験 |
|  | D.　脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛みを伴うと思われる実験 |
|  | E.　無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い　またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験 |
| 動物の苦痛軽減  排除の方法  (選択項目を全て■) |  | 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 |
|  | 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 |
|  | 3. 麻酔薬や鎮痛剤等の使用（具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入）  　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 4. 動物が耐え難い痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。  （具体的な基準を２点以上記入）  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 5. その他 （具体的に記入　　　　　　 ） |
| 安楽死の方法  (選択項目を全て■） |  | 1. 麻酔薬等の使用（（具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入）  （ 　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 2. 炭酸ガス |
|  | 3. 中枢破壊  （具体的に記入 　　　　 法） |
|  | 4. 安楽死させない（その理由を記入）  （ 　　 ） |
| 感染性廃棄物  （動物死体,注射針等）の排出の方法  (選択項目を■） |  | 1. 科学分析支援センターで処分 |
|  | 2. 外部業者に委託 |
|  | 3. その他（具体的に記入）  （ ） |
| その他必要又は  参考事項 | （遺伝子組換え実験安全委員会等への申請状況、過去の動物実験計画書承認経験などを記入する。） | |
| 動物実験委員会：  遺伝子組換え実験委員会： | |

（委員会記入欄）

|  |  |
| --- | --- |
| 動物実験委員会の  本実験計画に対する  意見等 | 審査終了： 20(　 　 )年　 月　 　 日 |
| 修正意見等  審査結果　　本実験計画は、動物実験規則に適合する。  　 （条件等　　遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。）  　本実験計画は、動物実験規則に適合しない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学長承認欄 | 承認： 20( )年 月 日 |
| 本実験計画を承認します。  承認番号： 第　　　　　　　　　　　　　　　　号  埼 玉 大　学　長 |

※注1　原則として、実験開始年度と実験終了年度は同一年度とする。

※注2　所属する部局等の長の確認を受け、そのことが分かる資料を添付すること。